

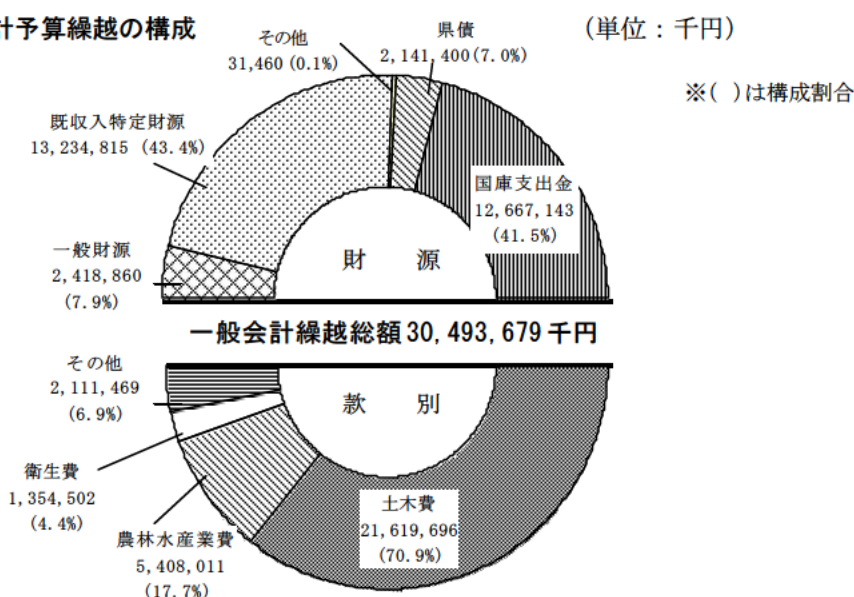
2 平成18年度からの繰越状況

予算の繰越しとは、経費の性質上または予算成立後の諸般の事情により年度内に事業が完了しなかったため、予算を翌年度に繰越して使用することです。

予算の繰越しには、主なものとして、1つは予算の経費の性質上、又は予算成立後の事由により当該年度内に支出を終わらない見込みがあるものについて、翌年度に限り繰越して使用することができる繰越明許と、もう1つは年度内に支出負担行為をし、避けがたい事故のために年度内に支出を終わらなかったものを翌年度に繰越して使用する事故繰越があります。

平成18年度からのこれらに該当する経費は、表22、図37のとおり、一般会計で繰越明許が約301億円、事故繰越が約4億円、また、特別会計で繰越明許が約75億円あり、これらの総額は約380億円となっています。

図37 平成18年度一般会計予算繰越の構成



(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)

表22 平成18年度からの予算の繰越状況 (一般会計・特別会計)

(単位：千円)

区 分	繰 越 額	左 の 財 源 内 訳		
		既収入特定財源	未収入特定財源	一 般 財 源
繰越明許合計	37,591,681	14,916,493	20,257,821	2,417,367
一般会計合計	30,103,013	13,160,083	14,525,563	2,417,367
総務費	355,034	99,620	-	255,414
民生費	392,554	384,717	-	7,837
衛生費	1,354,502	17,500	1,222,640	114,362
農林水産業費	5,408,011	1,726,930	3,392,939	288,142
商工費	251,956	-	167,000	84,956
土木費	21,464,676	10,883,316	8,965,105	1,616,255
教育費	93,316	46,000	-	47,316
災害復旧費	782,964	2,000	777,879	3,085
特別会計合計	7,488,668	1,756,410	5,732,258	-
港湾整備事業	52,000	-	52,000	-
流域下水道事業	7,305,900	1,625,642	5,680,258	-
中央卸売市場事業	130,768	130,768	-	-
事故繰越合計	390,666	74,732	314,440	1,494
一般会計合計	390,666	74,732	314,440	1,494
土木費	155,020	69,759	85,261	-
警察費	1,494	-	-	1,494
災害復旧費	234,152	4,973	229,179	-
合 計	37,982,347	14,991,225	20,572,261	2,418,860

(四捨五入のため合計に合わない場合があります。)